

比較文学比較文化コース

III 石原 剛

I. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・“Time for Change : Mark Twain in US School Textbookss, 1950s-1960s.” (*Mark Tain Studies*, vol.6, by Japan Mark Twain Society, 2023)

(3) 学会、研究会発表

- ・[シンポジウム講師]「トウェイン文学とロマンティシズム——*The Adventures of Tom Sawyer* (1876)を中心に」(日本英文学会第95回全国大会、関東学院大学関内キャンパス、2023年5月21日)
- ・[シンポジウム講師・司会]「リスペクタブル・ジャーニー——悪童ユーモアとトム・ソーヤーの運命」(日本マーク・トウェイン協会第27回全国大会、東京大学駒場キャンパス、2023年10月28日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「短評 辻和彦・浜本隆三編『非日常のアメリカ文学——ポスト・コロナの地平を探る』」(『アメリカ文学研究』60号、2024年3月)
- ・“The Dilemma of Teaching Mark Twain in Japan : Original or Translated Texts?” (*Mark Tain Studies*, vol.6, by Japan Mark Twain Society, 2023)
- ・「亀井俊介先生を偲んで」(『Newsletter』59号、日本マーク・トウェイン協会、2023年9月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「英語一列」「比較文学」

(2) 後期課程担当科目

「比較文学論II／特殊研究演習VIII(1)」 「調査研究実習」

「テキスト精読法／特殊研究演習VIII(2)／専門英語(2)」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習VI」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「英米文学特殊講義」(京都大学文学部 夏季集中授業)

「文学講義20」「基礎演習」(立教大学文学部)

3. 学内行政業務

英語部会教養英語運営班サブ・チーフ、比較文学比較芸術コース副主任、アメリカ太平洋地域研究センター編集委員、GSI国際卓越大学院プログラム国際共同研究マネジメント担当。

|| 李 太喜

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

- ・『自由と自己の哲学——運と非合理性の観点から』岩波書店、2024年3月

2. 教育実績

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

- 「哲学入門C」、「哲学概論C」(立正大学)、「知の構造」、「文化と人間」、「科学技術と現代社会」、「歴史の分岐点」(国際武道大学)、「生と死」(オムニバス形式、昭和大学)

|| 伊藤 徳也

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「『生活の芸術』の可能性の中心へ——デカダンス、中庸、合理性」(『九葉読詩会』第9号、2024年3月)
- ・「『覚え書き』国民革命の中の「フェアプレー」論議——「生活の芸術」としての「フェアプレー」」(『周作人研究通信』第14号、2023年6月)

(3) 学会、研究会発表

- ・《探討＜生活的芸術＞論的可能性——從周作人研究出發》(《植芳講座》第47講、復旦大学HGXS02、2023年9月22日)[中国語、オンライン]
- ・《周作人的“人情物理”——其三種類型与潜在邏輯》(《猶在二周之間「周氏兄弟」与中国新文学國際學術研討会、復旦大学、2023年9月23日)[中国語、オンライン]

(4) 書評、記事、エッセイ、その他

- ・[書評]「王欽『魯迅を読もう＜他者＞を求めて』」(『周作人研究通信』第14号、2023年6月)
- ・[編集・発行]『周作人研究通信』第14号、2023年6月

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

- 「中国語一列」、「国際研修」、「学術フロンティア講義」

(2) 後期課程担当科目

- 「共通中国語(精読)」、「比較文化論Ⅰ」、「テキスト精読法Ⅱ」

(3) 大学院担当科目

- 「比較ナラトロジーⅡ」

3. 学内行政業務

大学院超域文化科学専攻運営委員、大学院比較文学比較文化コース副主任、同運営委員
教養教育高度化機構執行委員、同国際連携部門長、LAP執行委員、大学間協定(南京大学)
幹事教員、国際交流センター委員、前期課程中国語TLP委員

||| 今橋 映子

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

- ・今橋映子・韓程善・井上健・西田桐子・町田樹『『比較研究とは何か』を語る二つの視座』東京大学ヒューマニティーズセンター、2023年5月

(2) 論文

(3) 学会発表、講演等

- ・(ワーク・イン・プログレス主催・共同発表)
『『比較文学比較文化ハンドブック』Work in Progress 2023』(科研費B「比較文学比較文化研究の理論再構築と一般知への還元に関する総合的アプローチ」研究代表者・今橋映子、2021-2024年度：共同討議)(発表者：今橋映子、井上健、中村和恵)2023年4月29日、オンライン
- ・(ワークショップ企画・共同発表)「比較文学比較文化の教育現場と将来—シラバス調査と社会調査を踏まえて」(今橋映子・韓程善・井上健・西田桐子・町田樹)日本比較文学会第85回全国大会、2023年6月10日、於東京外国語大学
- ・(講演会・招待あり)「愛のまなざし、不服従の精神—ロベール・ドアノーの作品世界」東京都写真美術館講演会、2023年8月27日 於東京都写真美術館
- ・(特別合評会主催・共同討議)『『比較文学研究』第108号特輯〈博士論文〉特別合評会』(今橋映子・佐々木悠介・國分功一郎・後藤健介・李賢峻)2023年12月15日 於東京大学教養学部

(4) 記事、エッセー

(5) その他

- ・社会調査監修(今橋映子・井上健)[東京大学ヒューマニティーズセンター助成金共同調査]
- (1)「日本および韓国の大学・大学院における比較文学比較文化関連授業のシラバスの網羅的収集と分析」(調査統括＝釜山大学助教授・韓程善／和光大学専任講師・西田桐子)
- (2)「日本の大学・大学院における比較文学比較文化教育に関する社会調査」(調査統括＝國學院大學助教・町田樹)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

Sセメスター＝フランス語、Aセメスター＝総合科目(比較文化論)

(2) 後期課程担当科目

Sセメスター＝比較研究の理論、Aセメスター＝芸術作品分析法Ⅲ

(3) 大学院担当科目

Sセメスター＝比較文学比較文化演習Ⅲ

3. 学内行政業務

美術博物館委員、学友会評議員、『東京大学新聞』理事

Ⅲ 及川 茜

Ⅰ. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・[コメント]「近代の到来とアジア圏文学の展開」(大阪大学中之島センター、2024年2月16日)
- ・「馬華文学の〈華〉とは何か——華語語系文学(Sinophone literature)の視点は有効か？」(「東京外国語大学中国言語文化研究会第19回研究会」、東京外国語大学、2024年3月2日)
- ・「馬華文学のマレー人表象について」(「世界文学・語圏横断ネットワーク 第15回研究集会」、オンライン開催、2023年3月29日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・[項目執筆]「郝景芳」・「鯨向海」・「黄錦樹」・「李永平」『中国語現代文学案内 中国、台湾、香港ほか』(栗山千香子・上原かおり編、ひつじ書房、2024)
- ・[書評]「真の人間になる(上・下) 甘耀明著 台湾原住民族の少年の成長」『日本経済新聞』、2023年9月23日

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・[翻訳・解説]賀淑芳『アミナ』(白水社、2023)

Ⅱ. 教育実績

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「中国語Ⅱ」「中国語Ⅲ」「漢文学」(東京外国語大学)

Ⅲ. 学内行政業務

なし(2023年度は専任職なしのため)

Ⅲ 大石 紀一郎

Ⅲ 梶谷 真司

Ⅰ. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

- ・『問うとはどういうことか 人間的に生きるための思考のレッスン』大和書房(総頁数215頁)、2023年8月
- ・『哲学対話の冒険日記 われら思う、ゆえにわれらあり』あいり出版(総頁数296頁)、2023年11月。

(2) 論文

1. 単著

- ・「アクティビティではなくスピリットとしての哲学対話～宮崎東高校定時制夜間部での実践」『哲学対話と当事者性:2019-23年度科学研究費補助金基盤研究(B)(課題番号19H01185)「哲学プラクティスと当事者研究の融合:マイノリティ当事者のための対話と支援の考察」研究成果報告書』、19-34頁、2024年3月。

(3) 学会、研究会発表

- ・「国際哲学オリンピック (IPO) と哲学教育」、2023年日本哲学会哲学教育ワークショップ、@早稲田大学戸山キャンパス、2023年5月19日
- ・第1回哲学講座「オンライン哲学対話 普通って何だろう?」、主催: 碧南市哲学たいけん村無我苑、於 Zoom、2023年6月17日。
- ・誰でも楽しく上達する文章講座、主催: 碧南市哲学たいけん村無我苑、於 無我苑、2023年7月1日。
- ・第2回哲学講座「オンライン哲学対話 お祭りの思い出について」、碧南市哲学たいけん村無我苑、於 Zoom、2023年7月22日。
- ・第3回哲学講座「運命はあるのか」、主催: 碧南市哲学たいけん村無我苑、於 無我苑、2023年9月16日。
- ・『問うとはどういうことか 人間的に生きるための思考のレッスン』(大和書房) 刊行記念梶谷真司×永井玲衣トークイベント「問う力はなぜ必要なのか」 於 代官山蔦屋書店、2023年9月19日。
- ・Practice of Philosophy Dialogue in the Part-time High School (定時制高校における哲学対話の実践)、「哲学対話と当事者研究についての総括シンポジウム (9月24日・25日)」、主催: 神戸大学・稲原美苗代表「哲学プラクティスと当事者研究の融合: マイノリティ当事者のための対話と支援の考察」/ 共催: 共生のための国際哲学研究センター (UTCP) 於 東京大学駒場キャンパス、2023年 (令和5年) 9月24日。
- ・Family as the Basis of the Value of Human Life in the East Asian Culture, Beijing Forum (北京論壇) Panel Session 4 Philosophy of Family: A New Subdiscipline in Philosophy, 2023年11月4日。
- ・「空気の哲学的可能性——シュミッツ／ベームの雰囲気現象学から」、「空気と水を考える会」、主催: 東アジア藝文書院 (EAA) 「空気の価値化プロジェクト」/ 共催: 共生のための国際哲学研究センター (UTCP)、2023年11月30日。
- ・2023年度三鷹市民大学「哲学コース」第21回、「対話によるコミュニティづくり」、主催: 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団 於 三鷹市生涯学習センターホール、2023年12月8日。
- ・第4回哲学講座「幸せとは?」、主催: 碧南市哲学たいけん村無我苑、於 Zoom、2023年12月9日。
- ・第3回哲学講座「自分探しとは何か?」、主催: 碧南市哲学たいけん村無我苑、於 無我苑、2023年1月20日。
- ・株式会社アドバンテスト社員研修「哲学対話とコミュニティ～思考を共創する場を作る」、主催: 不識庵 於 群馬 R & D センター、2024年1月26日。
- ・Atmosphere as a Fundamental Concept of Philosophy, KOIAS Italian-Japanese international symposium: Cross-Cultural Possibilities of Atmospheric Studies, Kobe Institute for Atmospheric Studies, Kobe University, 2024年2月4日。
- ・「学びと哲学対話 探求のためのコミュニティづくり」、主催: 長野上水内教育会 於 信州大学教育学部、2024年2月17日。
- ・第34期 経団連フォーラム21 2月講座「哲学対話とコミュニティ～共創的な話し合いの場を作る」、主催: 一般社団法人経団連事業サービス 於 経団連会館、2024年2月27日。
- ・「哲学対話の可能性～教育からコミュニティづくりまで」、主催: 彦根市男女共同参画フォーラム実行委員会「なぜ対話するだけで自由になれるのか」 於 Cozy Town 研修室

アルプラザ、2024年3月24日。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「ドイツ語1列」

(2) 後期課程担当科目

「現代哲学特殊研究Ⅱ」

(3) 大学院担当科目

「神話と文化」、「日独研究特別研究」(S集中)、「日独研究論Ⅰ・Ⅱ」(集中)、「多文化共生・統合人間学講義Ⅲ」、「多文化共生・統合人間学演習Ⅴ」、「多文化共生・統合人間学実験実習」

3. 学内行政業務

ドイツ・ヨーロッパ研究センター(DESK)執行委員、日独共同大学院(IGK)コーディネーター、多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)運営委員、共生のための国際哲学研究センター(UTCP)センター長、科学技術インタープリタープログラム運営委員、生命倫理連携研究機構運営委員。

Ⅲ 國分 功一郎

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・國分功一郎『目的への抵抗』、新潮社(新潮新書)、2023年4月。

(2) 論文

1. 単著

・國分功一郎「中動態から考える」、笠井清登 責任編集、熊谷晋一郎＋宮本有紀＋東畑開人＋熊倉陽介 編著『こころの支援と社会モデル：トラウマインフォームドケア・組織変革・共同創造』、金剛出版、2023年4月。

・國分功一郎、「享受の快——嗜好品、目的、依存症」、『新潮』、新潮社、2023年7月。

(3) 学会、研究会発表

・國分功一郎、「いま主権をどう考えるか?」、GSIキャラバンプロジェクト「主権の諸条件」研究報告会、QWS ACADEMIA SPECIAL 東京大学、2024年3月20日。

・國分功一郎、「アリバイなしであること——なぜ精神分析は今もなお必要であるのか」、「日本の精神分析、これまでとこれから」小寺記念精神分析研究財団設立30周年記念シンポジウム、2024年2月12日。

・國分功一郎、「スピノザの現代性と心理療法にとっての意味」、日本ユング派分析家協会セミナー、2024年1月7日。

・Koichiro KOKUBUN, 'Reconsidering the Other', Winter Institute 2023, 2023年11月7日。

・國分功一郎、「責任、帰責性、「自己責任」」、東京大学大学院履修証明プログラムTICPOC: 職域・地域架橋型一価値に基づく支援者育成、2023年10月15日。

・Koichiro KOKUBUN, 'A Deleuzian Concept of the Other', Literary Studies Conference 2023 in collaboration with Critical Island Studies Consortium, 2023年10月4日。

・國分功一郎、「17世紀における意識の概念の発明」、日本ユング心理学会第11回大会、2023年6月3日。

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・ 國分功一郎、【エッセー】「瞬間的に把握できる問題とそうでない問題：タバコの規制について私が考えていること」、『TASC monthly』たばこ総合研究センター編、578号、2024年2月。
- ・ 國分功一郎＋千葉雅也、【巻頭言】「生成AI時代の欲望と労働を哲学する」、『文藝春秋オピニオン2024年の論点100』、2023年11月。
- ・ 國分功一郎、【選評】「第22回小林秀雄賞「三島由紀夫論」平野啓一郎」、『新潮』、2023年10月。
- ・ 國分功一郎＋若林正恭、【対談】「ビッグモーター化する世界の中で」、『文學界』、2023年10月。
- ・ 國分功一郎、【エッセー】「哲学的な語り口から考える」、『VOICE 特集 生成AIは時代を変えるか』(549号)、PHP研究所、2023年9月。
- ・ 國分功一郎＋星野太、【対談】「『食客論』刊行記念対談「寄生の哲学」をいかに語るか」、『群像』、2023年8月。
- ・ 國分功一郎、【書評】「資本主義は主義であり、資本主義者は存在する——大澤真幸著『資本主義の〈その先〉へ』書評」、『ちくま』、筑摩書房、2023年7月。

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」「哲学II」

(2) 後期課程担当科目

「現代哲学」「文化社会論演習」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習V／社会・環境・健康と東アジアIII／グローバル・スタディーズ解析論II」「Supervised Readings II」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

3. 学内行政業務

Global Studies Initiative (GSI) ディレクター、超域文化科学紀要編集委員、14号館運営委員会委員長、SHIBUYA QWS(渋谷キューズ)に係るWG委員

|| Hermann Gottschewski

I. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・ 2023年9月15日：„Das stringendo als interpretatorisches Phänomen und als Vortragsbezeichnung bei Reger“ (Max Reger und das Klavier, Bern)
- ・ 2023年11月3日：“Methods / Performance Material - Recordings - Films (Response)” (Historical Embodiment in Musical Performance. The Performer’s Body as a Tool in Interpretation Research, Bern)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・ 作曲 „Nun komm ... zur Freiheit“, drei Sätze für Bläserquintett (2023年作曲／編曲)
- ・ 編曲 自作 „Zweistimmige Invention“ (2014) を二つのギターのために編曲
- ・ 作曲 „Nun komm der Heiden Heiland“, fünf fünfstimmige Kanons (2023/4年作曲)

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

- ・作曲 „Nun komm ... zur Freiheit“, drei Sätze für Bläserquintett (2023年11月9日フライブルクで一部初演)
- ・„Zweistimmige Invention“ (二つのギターのため) 2023年11月18日フライブルクで初演

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
「ドイツ語初級(演習)」 「ドイツ語二列」 「古典語初級(ラテン語)II」
- (2) 後期課程担当科目
「共通ラテン語(12)」 「比較文学比較文化特殊研究II」
- (3) 大学院担当科目
「ジャンル交渉論II」
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
「演奏論(2)『魔王』を中心に」(放送大学文京学習センター)

3. 学内行政業務

オルガン委員会(委員長)・ピアノ委員会

||| 斎藤 幸平

1. 研究・研究成果の公刊

- (1) 著書
 1. 単著
 2. 編著 斎藤幸平・松本拓也(編)『コモンの「自治」論』(集英社、2023年)
 3. 共著
- (2) 論文
 1. 単著
Kohei Saito, “Lukács’s Theory of Metabolism as a Foundation of Ecosocialist Realism,” *New German Critique* 50 (2): 101-129.
Kohei Saito, “Greening Marx in Japan,” *New Left Review* II/145 January/February (2024): 1-14.
 2. 共著
- (3) 学会、研究会発表
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
毎日新聞連載「斎藤幸平の分岐点、その先へ」
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
「哲学I」
- (2) 後期課程担当科目
「現代哲学特殊研究I(1)」、「倫理宗教論演習(2)」
- (3) 大学院担当科目
「比較思考分析II」
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
「経済原論」(京都大学大学院農学部研究科)

3. 学内行政業務

HSP 委員

齊藤 渉

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

Sho SAITO, Aufklärung und Verschwörung. Ein erzähltheoretischer Versuch, Symposium „Wozu Philologie?“, 2023年4月15日(土)、Freies Deutsches Hochstift(ドイツ・フランクフルト)

齊藤渉、「虚構的キャラクターの存在論について」、第8回駒場哲学フォーラム、2023年7月25日(火)、東京大学駒場キャンパス101号館2階研修室(ハイブリッド開催)。主催：駒場哲学フォーラム、共催：東アジア藝文書院(EAA)、共生のための国際哲学研究センター(UTCP)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「ドイツ語初級一列①」、「ドイツ語初級一列②」、「ドイツ語初級(第三外国語)」、「初年次ゼミナール文科」、「人文科学ゼミナール(ことばと文化)」

(2) 後期課程担当科目

「現代思想特殊演習Ⅰ／専門ドイツ語」、「現代思想／超域文化科学高度教養(現代思想)」

(3) 大学院担当科目

「比較モダニティ論Ⅰ／欧州公共秩序思想」、「比較モダニティ論Ⅰ／社会の自立と共同Ⅱ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

3. 学内行政業務

前期課程ドイツ語部会教務委員補佐

齋藤 希史

桜井 英治

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

「『塵芥集』の性格と成立過程について」『史学雑誌』132編7号、2023年7月

(4) 書評、記事、エッセー、その他

「コラム」『アイヌの貨幣』『図書』894号、2023年6月

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「歴史Ⅱ」

(2) 後期課程担当科目

「日本歴史文化論」「学際日本文化論演習Ⅳ」

(3) 大学院担当科目

「基層文化形成論Ⅱ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

3. 学内行政業務

教務委員会委員長・比較コース予算委員

||| 佐々木 悠介

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

・[司会] 東大比較文學會『比較文學研究』第108號特輯〈博士論文〉特別合評会、東京大学駒場キャンパス、2023年12月15日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

・[展覧会&カタログ評]『『前衛』写真の精神：なんでもないものの変容 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄展』『比較文學研究』109號、2024年1月

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「英語一列」「英語中級」「特別英語」

(2) 後期課程担当科目

「芸術作品分析法Ⅰ」「比較芸術論Ⅰ／専門英語」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習Ⅰ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

3. 学内行政業務

超域文化科学紀要編集委員、前期課程英語部会 UTEEP 委員

||| 佐藤 光

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

・「大江健三郎のウィリアム・ブレイク——まなびほぐしの過程を探る」、『ユリイカ7月臨時増刊号 総特集大江健三郎』(青土社、2023年7月15日)、594-603頁

・「寿岳文章『ブレイク論集』とは何か——著者と編者の批評眼」、『向日庵』第7号(特定非営利活動法人向日庵、2024年3月20日)、2-10頁

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

・Wayne C. Ripley with Works in Romance Languages Contributed by Fernando Castanedo, Works in Japanese Contributed by Hikari Sato, Works in Turkish Contributed by Hüseyin Alhas, Works in Russian and Other Cyrillic Languages Contributed by Vera Serdechnaia, 'William Blake and His Circle: A Checklist of Scholarship in 2022', *Blake/ An Illustrated Quarterly* 57 (University of Rochester, 2023), <https://blakequarterly.org/index.php/blake>

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「英語一列」「総合科目比較文化論」

(2) 後期課程担当科目

「テキスト精読法Ⅰ／専門英語」「比較文化論Ⅱ」「卒業論文演習」

(3) 大学院担当科目

「文化コンプレキシティ演習Ⅱ」

3. 学内行政業務

教養英語運営班、同チーフ、比較文学比較芸術コース主任、学生委員会副委員長、三鷹国際学生宿舎運営委員会委員長、国際交流・留学生委員、比較文学比較文化コース運営委員

||| 實谷 総一郎

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

・ *La Pensée littéraire et artistique d'Émile Zola : une esthétique vitaliste*, Paris, Honoré Champion, Coll. « Romantisme et Modernités », 2023, 722p.

(2) 論文

1. 単著

・ 「自然主義のエコロジー——ゾラ『生きる喜び』における環境の倫理と詩学」『Les lettres françaises』上智大学フランス語フランス文学会、2023年第43号

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

・ アラン・コルバン『1930年代の只中で——名も無きフランス人たちの言葉』寺田寅彦、實谷総一郎訳、藤原書店、2023年

2. 教育実績

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「専門基礎フランス語B[A]」「専門基礎フランス語B[B]」「専門基礎フランス語B[A]」「専門基礎フランス語B[B]」「フランス文学史B」「フランス美術論」「翻訳文化研究IIB」「フランス文学研究入門A」「既習者用フランス語C-1」「既習者用フランス語C-2」「卒論演習」「フランス文学研究」「テキストとイメージ研究」(上智大学文学部フランス文学科)

3. 学内行政業務

前任校で学内行政業務に従事

||| 田口 一郎

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

・ 荒井健・田口一郎『荻生徂徠全詩2』平凡社東洋文庫 2023年6月 (ISBN: 9784582809145)
・ 齋藤希史・田口一郎『漢文の読法：史記游俠列伝』KADOKAWA 2024年3月 (ISBN: 97840444007881)

(2) 論文

1. 単著

・ 田口一郎「荻生徂徠詩の「和習」——実作の検討——」(『国語と国文学』101(3)、pp.115-127、

2024年2月)

- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

・「工具書概説」(日本漢字学会(編集)『漢字文化事典』丸善出版、pp.64-67)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」「人文科学ゼミナール」

- (2) 後期課程担当科目

「東アジア文化論」「論文指導」

- (3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習Ⅰ」

- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「釋大典『詩語解』講読／中国語学中国文学特殊講義Ⅵ」(大学院人文社会系研究科・文学部)

3. 学内行政業務

超域文化科学分科長、学際日本文化論コース主任、広報委員

谷口 洋

1. 研究・研究成果の公刊

- (3) 学会、研究会発表

・「西村時彦『屈原賦説』と日本新漢学」、中国屈原学会第十九届年会(ビデオ参加)、2023年4月。また国際漢学ワークショップ「国際漢学における日本楚辞学：石川三佐男教授の学問を記念して」、東京大学駒場キャンパス、2023年10月

・[紹介]「石川三佐男教授経歴と業績」、前掲ワークショップ、2023年10月

・「略論漢魏六朝辞賦中の楚歌体」、第十五届国際辞賦学学術研討会、復旦大学国際文化学院、2023年12月

- (4) 書評、記事、エッセー、その他

「紙上インタビュー」「追尋中国文学の魅力——日本東京大学谷口洋教授訪談」(仮想インタビュー：王詩吟、傅湘龍)、劉涵之・傅湘龍主編『海外中国学名家訪談録』(第一輯)、湖南大学出版社、pp.160-178、2023年6月

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」、「古典中国語」

- (2) 後期課程担当科目

「学際日本文化論演習Ⅴ」、「東洋古典学」

- (3) 大学院担当科目

「多元文化協力論Ⅱ」

- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「楚辞『天問』講読」(人文社会系研究科)／「中国語学中国文学特殊講義Ⅲ」(文学部)、「中国文学語学特講」(広島大学文学部及び大学院人間社会科学研究科)

3. 学内行政業務

比較文学比較文化コース運営委員

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

2. 編著

- ・『与謝野晶子訳 紫式部日記・和泉式部日記』(解説、角川ソフィア文庫、2023年)
- ・『源氏愛憎 一源氏物語論アンソロジー』(編・解説、角川ソフィア文庫、2023年)

(2) 論文

1. 単著

- ・「「光君」と「光源氏」」(『むらさき』第60輯、2023年12月)

(3) 学会、研究会発表

- ・「王昭君説話の受容と『西京雜記』」(第67回国際東方学会議、日本教育会館、2023年5月20日)
- ・「誰が「光る君」と名づけたか」(第14回書物同好者の相談并ニ懇談会、九州大学中央図書館、2023年8月26日)
- ・[コメント]「東アジア古典学の方法 第86回“東アジア古典学の方法”国際シンポジウム」(「国際研究会 東亜古典学的方法」、北京大学民主楼、2023年11月22日)
- ・「音無文庫の国文学関係資料」(第15回書物同好者の相談并ニ懇談会、九州大学中央図書館、2023年12月23日)
- ・「『伊勢物語』の「段末注記」をめぐる」(「東アジア古典学の方法 第93回 文字世界と注釈」、東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟、2024年3月24日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「コマメシの葉」(『教養学部報』第644号、2023年4月3日)
- ・「駒場桜史と植栽管理」(『教養学部報』第647号、2023年7月3日)
- ・「新型コロナウイルス感染症への対応」、「運営諮問会議(第九期第2回会議)」(『駒場2022』東京大学大学院総合文化研究科、2023年9月)
- ・「駒場ハチ公物語」(再録、『淡青』vol.47、2023年9月)
- ・「アドミニ棟大会議室の一日——「高校生のための東京大学オープンキャンパス2023」報告」(『教養学部報』第648号、2023年10月2日)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「日本語日本文学Ⅰ(理科生)」

(2) 後期課程担当科目

「日本文学」

(3) 大学院担当科目

「文化コンプレキシティ演習Ⅵ／人間の安全保障演習Ⅰ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「デジタル・ヒューマニティーズ入門」(オムニバス形式、文学部・大学院人文社会系研究科)

3. 学内行政業務

研究科長補佐、教育システム整備検討WG、前期教務電算委員、広報委員、教養学部報委員、社会連携委員、駒場ファカルティ・ハウス運営委員、21KOMCEE運用委員(以上9月まで)、環境委員会委員長、キャンパス計画室植栽管理部会室員、HSP運営委員、教養教

育高度化機構EX部門兼務教員、EAAリサーチユニット担当教員、美術博物館委員、オルガン委員、東京大学公開講座企画委員、情報基盤委員

|| 出口 智之

I. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「挿絵から見る『都の花』の問題——草創期の絵入り文芸誌として」(井上泰至編『混沌と革新の明治文化—文学・美術における新旧対立と連続性』、勉誠出版、2023年7月)
- ・「『新著月刊』に見る口絵印刷への挑戦——第二期「新小説」との比較を視野に」(『日本近代文学館年誌 資料探索』19号、2024年3月)

2. 共著

- ・「〔新出〕石井鶴三宛木村莊八書簡等資料(大正十二年～昭和七年)百二十二点——翻印と紹介」(荒井真理亜・鶴田奈月・富永真樹・杲由美との共著、『信州大学附属図書館研究』臨時増刊第3号、2024年3月)

(3) 学会、研究会発表

- ・「『すみだ川』『歓楽』口絵の女は誰か?——口絵・挿絵に隠された謎」(令和五年度荷風忌、浄閑寺、2023年4月30日)
- ・「口語文小説はどうやってできたか——明治の文章改革——」(インタープリター会 研修講座、文京アカデミー、2023年6月22日・6月29日)
- ・「文豪だって、不安だった!——鷗外と考える、先の見えない時代の歩きかた」(文京区立森鷗外記念館 夏のジュニア講座、2023年8月5日)
- ・「明治期『読売新聞』連載小説の挿絵——尾崎紅葉の影響圏——」(「よみうり抄」研究会、オンライン開催、2023年8月28日)
- ・「本文だけが近代文学か?——口絵・挿絵に込められた秘密——」(京都女子大学国文学科公開講座、京都女子大学、2023年11月6日)
- ・「明治文学の口絵・挿絵と顔の問題」(第101回HMCオープンセミナー、東京大学本郷キャンパス・オンライン同時配信、2023年12月1日)
- ・「筆記具の文化史」(Academic consultations at Yuan Ze University、元智大学(台湾)、2023年12月5日)
- ・「明治文学における口絵・挿絵の問題(明治文学作品所見巻首繪及挿圖之探討)」(中央研究院世界史研究室專題演講、中央研究院(台湾)、2023年12月6日)
- ・「挿絵画家たちの近代——権利と立場の獲得に向けて——」(日本出版美術家連盟 75年の軌跡 記念講演会、O美術館、2024年2月5日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「『鰯崎英朋』(『泉鏡花生誕一五〇年記念 鏡花の家』、泉鏡花記念館、2023年10月)
- ・「挿絵画家たちの近代——権利と立場の獲得に向けて——」(『日本出版美術家連盟 75年の軌跡』図録、日本出版美術家連盟、2024年2月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」「人文科学ゼミナール」

(2) 後期課程担当科目

「学際日本文化論」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習Ⅱ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「近世文学特殊講義B-1・2」(東海大学大学院)

3. 学内行政業務

学生相談所運営委員、学生相談所協力委員、時間割編成担当(国文・漢文学部会)

寺田 寅彦

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

「ベルギー人芸術家と日本人芸術家の出会い——フランソワ・パイクと児島虎次郎」(『超域文化科学紀要』第28巻、2028年10月)

(3) 学会、研究会発表

(司会・通訳) ワークショップ「美術史データを使おう！」(東京大学駒場キャンパス、2024年3月26日・28日)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

「学部報の行方2・それはピタゴラスイッチ」(『教養学部報』第652号、2024年2月)

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

(共訳) アラン・コルバン『1930年代の只中で——名も無きフランス人たちの言葉』(藤原書店、2023年10月)

(共著)『話して学ぶフランス文法』(朝日出版社、2024年1月)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「フランス語中級(読解)」、「国際研修」

(2) 後期課程担当科目

「比較文学比較文化特殊研究Ⅰ」、「比較文学論Ⅰ」、「フランス言語文化論」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習Ⅳ」、「研究技法トレーニングⅠ」

3. 学内行政業務

超域文化科学専攻長、比較文学比較文化コース主任、超域運営委員、総務委員、防災委員、健康安全管理委員、教員評価委員、共用スペース運用委員、ハラスメントに関する相談員、グローバル・センター運営委員、情報倫理審査会委員、駒場ファカルティハウス運営委員、男女共同参画支援施設運営委員、研究科教育会議委員、グローバル地域研究機構運営委員、グローバルコミュニケーション研究センター顧問、TLP委員会委員、後期教養教育科目運営委員長

徳盛 誠

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著

- ・「一条兼良『日本書紀纂疏』の成り立ち——「旧説」をめぐる」(『超域文化科学紀要』第28号、2023年10月)

2. 共著

(3) 学会、研究会発表

- ・[コメント]「東アジア古典学の方法 第86回 “東アジア古典学の方法”国際シンポジウム」(「国際研究会 東亜古典学的方法」、北京大学民主楼、2023年11月22日)
- ・「日本書紀講書から『日本書紀纂疏』へ——テキストの核心としての「神道不測」(「東アジア古典学の方法 第93回 文字世界と注釈」、東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟、2024年3月24日)

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」

(2) 後期課程担当科目

「比較日本文化論Ⅱ」、「比較文学比較文化論演習Ⅱ」

(3) 大学院担当科目

「文化コンプレキシティ演習Ⅳ」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「日本の古典作品に表し出された世界観——『古事記』『竹取物語』『神皇正統記』をめぐる」(「東アジア古典学の方法第92回」台湾大学特別講義(5)、台湾大学普通教學館306、2024年3月12日)

3. 学内行政業務

国際交流センター副センター長、留学生相談室室長、大学院比較文学比較文化コース運営委員、総合研究棟管理委員会委員

||| 永井 久美子

1. 研究・研究成果の公刊

(3) 学会、研究会発表

- ・上田竜平、鈴木敦命、高岸輝、鈴木親彦、永井久美子(協働研究ポスター発表)「日本中世に描かれた人物顔貌に対する特性判断——valence-dominanceモデルの適用可能性の評価」日本心理学会第87回大会、於・神戸国際展示場、2023年9月17日
- ・「「美人」の「基準」と和歌文化——大正期の場合」東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンター(HMC)第101回オープンセミナー「「顔」は何を語るのか：文学の読み方と「顔」、オンライン開催、2023年12月1日

(4) 書評、記事、エッセー、その他

- ・「平安古典の犬と猫——「心なき」もの、「心ある」もの」東京大学広報室『淡青』第47号(特集「犬と東大」)、2023年9月11日、p. 20
- ・「進学情報センターと進学選択シンポジウムのご案内」『進学情報センターニュース』第94号、東京大学教養学部進学情報センター、2023年4月1日、p. 1
- ・「進学情報センターを活用しよう!」『進学情報センターニュース』第95号、東京大学教養学部進学情報センター、2023年7月20日、p. 1
- ・「ソレゾレニサクラサク」『進学情報センターニュース』第96号、東京大学教養学部進学情報

報センター、2023年9月8日、p. 1

- ・(青木優氏との共著記事)「施設・組織紹介 将来を考える指針に——進学情報センターの活用」『教養学部報』第644号、東京大学教養学部、2023年4月3日、p. 4
- ・「やんごとなき「光る猫」の正体」『女性セブン』第62巻第10号(2024年3月21日号)、小学館、2024年3月7日、pp. 112-113

(5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他

講演

- ・「絵巻「病草紙」から考える「美」と「醜」」質問対応・研究室訪問 夢ナビライブWeb in Summer / in Autumn、オンライン会議システムZoomでの開催、2023年7月15日、7月16日、10月21日、10月22日

東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンター(HMC) オープンセミナー運営・司会

- ・第87回「「顔」は何を語るのか——顔貌コレクションの活用と展望」、オンライン開催、2023年3月6日
- ・第93回「「顔」は何を語るのか——漫画と絵巻における顔貌表現の心理学」、オンライン開催、2023年6月1日
- ・第94回「ヒューマニティーズセンターって何?——若手研究者の活動、紹介します」、オンライン開催、2023年8月2日
- ・第108回「解説・公家列影図——血筋・才能・個性と鎌倉時代のキャラクターデザイン」オンライン開催、2024年3月25日 ※ディスカッサントも担当

写真提供

- ・「東大キャンパストイレ事情NOW 駒場キャンパストイレアルバム」『淡青』Vol. 48、東京大学広報室、2024年3月11日、p. 19 仮設トイレ写真
- ・東大駒場友の会「2024年度学事カレンダー」2024年3月、写真およびキャプション 6月「おすまし」、2月「紅白梅の道」
- ・東大駒場友の会会報 第42号、2024年3月15日、p. 7 ファカルティハウス写真
- ・2024年度夏学期(S semester)「高校生と大学生のための金曜特別講座」ポスター、2024年3月 1号館写真

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「初年次ゼミナール文科」

(3) 大学院担当科目

「文化コンプレキシティ演習Ⅴ」、「多文化共生・統合人間学講義Ⅲ」(オムニバス形式、第5回のみ登壇)

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

日越大学大学院 “Society and Culture of Contemporary Japan”

早稲田大学エクステンションセンター 春学期「国宝「源氏物語絵巻」を読む——竹河、橋姫、早蕨巻を中心に」(オンライン)、秋学期「紫式部の肖像——日記と絵巻から考える」(対面)

3. 学内行政業務

進学選択調整部会委員、進学情報センター運営委員会委員、教務委員会委員、学生相談協議会委員、オルガン委員会委員(2023年10月～2024年9月 委員長代理)、社会連携委員会委員

||| 古庄 真敬

1. 研究・研究成果の公刊

(2) 論文

1. 単著 Masataka Furusho, “On the Limits of Transcendental Philosophy in Heidegger’s Thinking: Thrown Projection, Metontology, and Emergence of Dasein”, *Kritike*, 16 (3), 2023.4, pp. 33-44 (2023)

2. 教育実績

(2) 後期課程担当科目

「現代哲学演習(1)(専門ドイツ語(2))」、「倫理宗教論(2)(専門ドイツ語(3))」

(3) 大学院担当科目

「超域文化科学特別講義I」

(4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目

「ハイデガーを読む」(人文社会系研究科)、「哲学演習Ⅶ・Ⅷ／カント『純粹理性批判』(1・2)」(哲学特殊講義Ⅰ／死生学特殊講義Ⅷ／死生をめぐる実存哲学の諸問題)(文学部・人文社会系研究科)、「哲学特殊講義Ⅱ／言語と感情の哲学」(文学部・人文社会系研究科)、「エネルギー総合学基礎論」(オムニバス形式、工学部)、「文化の哲学」(オムニバス形式、早稲田大学文化構想学部)、「哲学・倫理学特講3・4」(聖心女子大学現代教養学部)

3. 学内行政業務

文学部哲学研究室主任

||| 前島 志保

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

- ・『EAA Booklet 27-2 メディア史の中の『アサヒカイカン コドモの本』——特色、変容、そこから見えてくるもの』東京大学東アジア藝文書院 2023年1月 1-59頁(全59頁)(オンライン版 2023年3月公開)

2. 編著

- ・『EAA Booklet 34 出版・報道文化の近代化1——「人」から読み解く』東京大学東アジア藝文書院 2024年3月(全95頁)(編集および序の執筆を担当)
- ・『EAA Booklet 35 出版・報道文化の近代化2——?』東京大学東アジア藝文書院 2024年3月(全121頁)(編集および序と以下の論文の執筆を担当：前島志保「座談会というスクランダル——定期刊行物における〈声〉の位置づけ」前島志保編『EAA Booklet 35 出版・報道文化の近代化2』東京大学東アジア藝文書院 2024年 23-44頁)

(2) 論文

1. 単著

- ・“Presenting an Egalitarian Multicultural Empire through Transparent Media: Photographic Reporting in Print Mass Media in Late Interwar Japan.” *International Quarterly for Asian Studies*. Vol. 54 No.3, November 2023, pp. 281-322 (DOI: <https://doi.org/10.11588/iqas.2023.3.20371>).

(3) 学会、研究会発表

- ・「『リアリティ』の変容／不変容——明治末期定期刊行物における報道への写真の導入」第91回HMCオープンセミナー 東京大学ヒューマニティーズセンター(オンライン開催) 2023年4月14日
- ・「〈透明な媒体〉を通して描かれた帝国——近代日本における視覚的報道の展開と1930年代の大衆的写真記事」世界史研究室專題演講 中央研究院歷史語言研究所(台湾) 2023年11月13日
- ・「視覚表現による報道と『リアリティ』——『近事画報』類を例として」第二回明治雑誌文化研究会 東京大学駒場Iキャンパス 2023年11月19日
- (4) 書評、記事、エッセー、その他
 - ・「【報告】ジャーナリズム研究会第十回公開研究会」東京大学東アジア藝文書院 (<https://www.eaa.c.u-tokyo.ac.jp/blog/report-20231223/>) 2024年1月
- (5) 辞書編纂、翻訳、上演等、その他
 - ・[ディスカッサント] "Painel O Haikai em São Paulo: presente, passado e futuro do haikai no Brasil - seu desdobramento diversificado" (4th International Congress of Japanese Studies in Brazil / CIEJB) Universidade Federal Fluminense(リオ・デ・ジャネイロ、ブラジル) 2023年8月31日
 - ・[スーパーバイザー]「第20回大澤コロキウム(20th Ohsawa Colloquium)」東京大学駒場Iキャンパス 2023年9月20日
 - ・[企画、司会、ディスカッサント]「ジャーナリズム研究会 第十回公開研究会」(東京大学東アジア藝文書院) 東京大学駒場Iキャンパス 2023年12月23日

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
 - ・「学術フロンティア講義(全学自由ゼミナール)(PEAK)」(Introduction to Japan in East Asia)
 - ・「総合科目A(思想・芸術): 比較文化論」(近代日本における出版・読書文化の大衆化)
- (2) 後期課程担当科目
 - ・「比較日本文化論演習／文化・思想研究特論Ⅱ／世界歴史と東アジアⅠ／グローバル教養特別演習Ⅰ／専門英語」(Media and Modernity in Japan)
 - ・「資料・文献調査法」
 - ・「Theories in East Asian Liberal ArtsⅠ(東アジア教養学理論Ⅰ)」(“The Structural Transformation of the Public Sphere by Jürgen Habermas: Its Implications in East Asian Contexts”の一回分を担当)
- (3) 大学院担当科目
 - ・「文化コンプレキシティ演習Ⅰ／文化・人間情報学特論XXⅥ」(人文学理論入門——ブリコラージュ／DIFの人文学研究に向けて)
 - ・「文化コンプレキシティ演習Ⅰ／多文化共生・統合人間学演習Ⅶ／文化・人間情報学特論XXⅦ」(定期刊行物を用いた比較研究)
- (4) 他学部、他研究科、他大学の授業科目
 - ・「戦間期の日本における消費文化とジェンダー(Consumer Culture and Gender in Interwar Japan)」元智大学(台湾) 2023年11月14日(日本語と英語で教授)

3. 学内行政業務

国際日本研究教育機構(OGJS)副機構長、EALAI執行委員、東アジア藝文書院(EAA)リサーチ・ユニット担当教員、PEAK前期部会副主任(副委員長)、比較文学比較文化コース

|| 松井 裕美

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

1. 単著

『もっと知りたいキュビズム』(東京美術, 2023年)

(2) 論文

1. 単著

1-1. “Diagram of the Diagram of the War Landscape in Harun Farocki's Images of the World and the Inscription of War (1988),” *Paysage(s) de l'étrange II* (Le Bord de l'Eau, 2023)

1-2. “Top-down Processing in Cubism: The Diagram of Human Proportion in Picasso's Cubist Works,” *Psychologia*, vol. 65, no. 2, 2023 (DOI: <https://doi.org/10.2117/psysoc.2023-b034>)

(4) 書評、記事、エッセー、その他

4-1「現代アートはどうして難しいの?」『素朴な疑問VS東大 「なぜ?」から始まる学術入門』(K A D O K A W A, 2023年)

4-2「ロランス・ベルトラン・ドルレアク監修「物 静物の物語」展」『比較文学研究』109号, 2023年, 142~145頁

4-3「レイモン・デュシャン=ヴィヨンとピュトー・グループ」『キュビズム』展図録, 2023年, 118~120頁

2. 教育実績

(1) 前期課程担当科目

「美術論」、「比較芸術」、「フランス語一列」

(2) 後期課程担当科目

「芸術作品分析II」、「フランス表象芸術論」、「比較芸術論II」

(3) 大学院担当科目

「比較文学比較文化演習III」

3. 学内行政業務

『レゾナンス』教員委員

|| 渡辺 美季

1. 研究・研究成果の公刊

(1) 著書

3. 共著

WATANABE Miki : “The Oldest Map Becomes the Newest: Takemori Dōetsu's 1696 Map of the Ryukyu Kingdom.” Takahashi Kimiaki, Osawa Akihiro ed., *Old Maps in Asia: Basic Information and Perspective for New Research*, Toyo Bunko, 2023, pp.55-66.

(3) 学会、研究会発表

渡辺美季「東ユーラシア世界における明清公文書」(東国大学校文化学術院HK+事業・東京大学史料編纂所共催シンポジウム「モノとしての東ユーラシアの公文書」、韓国：東国大学校、2023年8月9日)

渡辺美季「横山重の琉球関係史料収集」(琉球沖縄歴史学会・法政大学沖縄文化研究所共催シンポジウム「横山重関係史料・久米村楚南家文書の世界——『法政大学沖縄文化研究所蔵琉球関係史料目録』の刊行によせて』——」、沖縄県立芸術大学[オンライン併用]、2023年12月9日)

2. 教育実績

- (1) 前期課程担当科目
「歴史Ⅰ」、「初年次ゼミナール」
- (2) 後期課程担当科目
「日本文化資料読解Ⅱ」、「学際日本文化論演習Ⅱ」
- (3) 大学院担当科目
「文化コンプレキシティ演習Ⅲ」

3. 学内行政業務

企画調整分科会委員、グローバル共生プログラム(GHP)運営委員、地域文化研究専攻兼任